

彦根市新市民体育センター整備基本計画案（中間報告）

＜最初に＞

彦根市新市民体育センター整備基本計画の策定に向けて、現在も検討委員会にて議論が続いており、当内容は決定事項ではありません。なお、これまでの検討委員会での意見等開催経過については、市ホームページに掲載しておりますので、併せてご覧ください。

＜経緯＞

平成 36 年に開催される国民体育大会（「以下「国体」）が県立彦根総合運動場を主会場として開催されることとなり、滋賀県により整備基本計画が策定されました。この整備計画区域内には、彦根市民体育センターがあり、滋賀県の主会場整備のため、彦根市では同施設を移設することとし、委員会を設け、新たな市民体育センターの整備に向けた検討をしているところです。

そこで、これまでの検討内容を中間報告として公表し、みなさまのご意見を伺うこととしました。

＜現状＞

市民体育センターは昭和 56 年に滋賀県で開催された「びわこ国体」をきっかけに、昭和 55 年、市民の生涯スポーツや競技スポーツの活動拠点として、また、隣接する「県立彦根総合運動場」と相互に補完する施設として建てられました。現在では、各種競技スポーツによる大会や練習、本市主催のスポーツ教室への参加、個人的利用、プロバスケットボールbjリーグの開催等、子供から大人まで広く市民に利用され、平成 26 年度では年間延べ 78,018 人の方が訪れております。

また、本市の防災計画では「一時避難場所」と「物資の配送拠点」に指定されており、スポーツのみならず、多様な用途を備えた体育センターとなっております。

◆広域位置図



◆施設概要

- 【所在地】彦根市松原町 3751 番地 7
- 【竣工】昭和 55 年 7 月 12 日
- 【敷地面積】16,110.05 m²
- 【建築面積】4,405.02 m²
- 【延床面積】4,749.61 m²
- 【構造】鉄筋コンクリート造 2 階建
- 【総工費】823,303 千円
- 【第 1 競技場】1,824 m² (48m×38m)
バレーコート 3 面、バスケットコート 2 面、卓球 24 面、ハンドボールコート 1 面、バドミントンコート 10 面、テニスコート 3 面
観客席 1,024 席（固定 576、可動 448）
- 【第 2 競技場】392 m² (23.5m×16.7m)
バレーコート 1 面、バドミントンコート 3 面、卓球 6 面
- 【その他】トレーニング室 96 m²、会議室 (3 室) 169 m²・120 名

＜市民等アンケート結果の概要＞ 回答率：57.3%

平成 27 年 9 月 17 日から平成 27 年 10 月 5 日まで、住民基本台帳より無作為に選んだ市内 16 歳以上の男女 2,000 人と、市民体育センター利用者 481 人の計 2,481 人の皆様を対象に新市民体育センターに関するアンケート調査を行いました。アンケートは 1,421 名の方から回答をいただきました。

◇回答者の属性



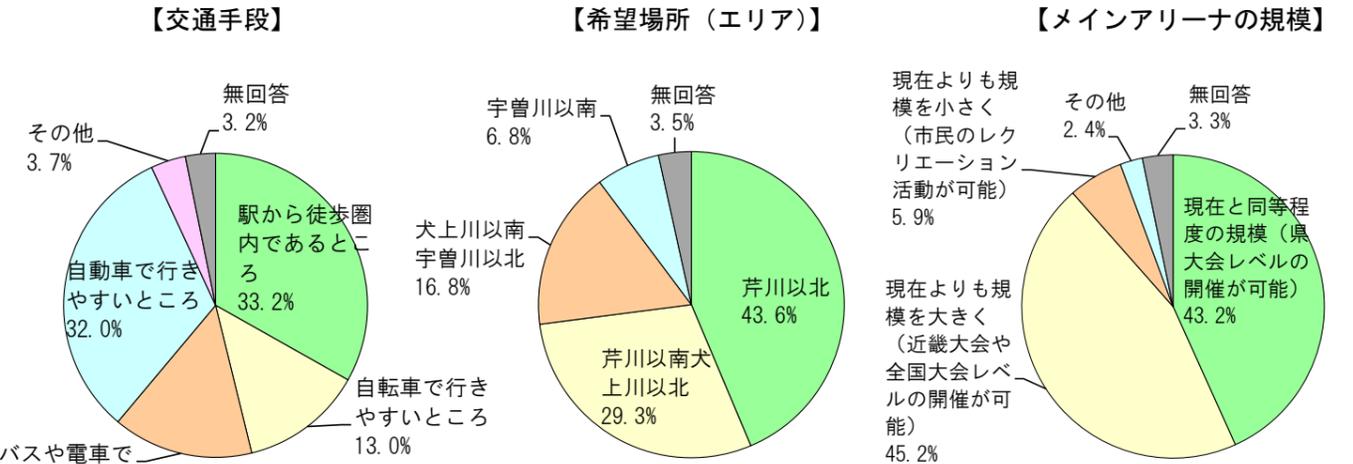
◇新たに整備する体育センターに対する市民等の意向

市民体育センターへの交通手段は、「駅から徒歩圏内であるところ」と「バスや電車で行きやすいところ」といった公共交通機関がおよそ半数となりました。

希望場所は、「芹川以北」に次いで「芹川以南犬上川以北」が多くなりましたが、どのエリアも自分の住んでいる地域に建ててほしいという声が多くなっています。

第 1 競技場（以下「メインアリーナ」）の規模は、「現在よりも規模を大きく（近畿大会や全国大会レベルの開催が可能）」と「現在と同等程度の規模（県大会レベルの開催が可能）」に分かれている状況です。

施設に求める機能は、「更衣室・ロッカー、トイレ等が使いやすく、充実していること」が最も多く、次いで「駐車場・駐輪場が十分確保されていること」「競技場（アリーナ）の規模が十分確保されていること」の順です。



【施設に求める機能】

選択肢	件数	割合
1. 競技場（アリーナ）の規模が十分確保されていること	685	48.2%
2. トレーニング室等の付帯機能が十分整備されていること	266	18.7%
3. 競技場（アリーナ）の上部などを活用したランニング・ウォーキングコースがあること	205	14.4%
4. 更衣室・ロッカー、トイレ等が使いやすく、充実していること	795	55.9%
5. スポーツ以外の目的にも使えること	387	27.2%
6. 小さな子どもが利用できる、キッズルーム等が整備されていること	199	14.0%
7. 飲食等が出来るスペースが充実していること	297	20.9%
8. 観覧席が現在よりも多いこと（現在：固定576席・可動448席）	262	18.4%
9. 災害時の防災機能として活用できること	644	45.3%
10. 駐車場・駐輪場が十分確保されていること	696	49.0%
11. 子供から高齢者まで幅広い世代が利用しやすいこと	451	31.7%
12. インターネット等による予約や受付機能が充実していること	171	12.0%
13. 市民向けのさまざまな講座やプログラムが充実していること	301	21.2%
14. 会議室の利用など、貸館サービスが充実していること	62	4.4%
15. 館内の照明、空調や換気、冷暖房設備等の設備が充実していること	437	30.8%
16. 利用料金が安価に設定されていること	484	34.1%
17. 利用しやすい時間帯区分であること	103	7.2%
18. 敷地内に緑などが多く、空間にゆとりがあること	256	18.0%
19. その他	33	2.3%
無回答	54	3.8%
計	6,788	

〈新市民体育センターの整備について〉

◆新市民体育センターの基本的な考え方

新市民体育センターは、平成 36 年に開催する国体に向けた「競技力の向上を図る施設」と、市民の健康づくりや体力づくり教室や各種イベントなど、多様な市民ニーズに対応した「誰もが使える健康コミュニティ施設」の両面を併せ持った施設として整備します。さらに、環境への配慮、防災拠点としての機能、市民の憩いの場としての機能を併せ持つなど、スポーツ利用者のみならず、子どもから大人までが気軽に訪れ、交流が図れるような“スポーツを通じた健康複合施設”として整備します。

◆基本コンセプトと整備方針

コンセプト	整備方針
コンセプト1 競技スポーツを推進し、競技力の向上を図る体育館	<ul style="list-style-type: none"> *平成 36 年開催の国体を踏まえ、市民の競技力向上を図るため、競技スポーツが円滑に行われるような環境を整備していきます。 *国体開催後も、中高生を始めとして多くの人々が参加する大会等の誘致により、スポーツへの興味や関心を高め、将来のスポーツ振興や、交流人口の増加が見込めるような整備を行います。
コンセプト2 健康づくり・体力づくりを推進する体育館	<ul style="list-style-type: none"> *多くの市民が生活の中に運動を取り入れ、運動のきっかけづくりの提供と運動継続のための支援ができる環境を整備していきます。 *競技スポーツだけでなく、各種教室機能など、多様なニーズに対応できる体育館として整備を行います。 *スポーツ団体向けの情報や運動プログラムの情報発信など機能の充実を図っていきます。 *ライフステージに応じたスポーツ活動が出来るよう、ソフト、ハード面での整備を行います。
コンセプト3 誰もが使いやすく楽しめる体育館	<ul style="list-style-type: none"> *国体や全国障害者スポーツ大会等が開催されるため、ユニバーサルデザインに努めた整備を図ります。 *スポーツに関わらず多様な目的で、誰もが気軽に訪れることのできる地域に密着した憩いの場として整備していきます。
コンセプト4 市民の生活をサポートする体育館	<ul style="list-style-type: none"> *現市民体育センターが、地域防災計画で一時避難場所として位置付けられていることを踏まえ、新市民体育センターにおいても大規模災害時における緊急避難場所としての機能および防災装備品の備蓄機能などを設けていきます。
コンセプト5 環境に配慮した体育館	<ul style="list-style-type: none"> *地域の歴史や文化、豊かな自然と共生できる施設を整備していきます。 *資源の循環利用や省エネルギー型施設の導入など環境に配慮した整備を図っていきます。

◆新しい市民体育センターの導入機能

機能名	内容
① メインアリーナ	競技スポーツ大会、地域のコミュニティ団体が開催するスポーツ大会の他、多様な屋内イベントの開催、大規模災害時の防災機能など、多様なニーズに対応したメインアリーナ（ハンドボールコート2面（バスケットボールコート3面））を検討します。
② サブアリーナ	メインアリーナの補完施設として、小規模なスポーツ競技大会、大規模なスポーツ競技大会の練習機能や第2会場、ウォーミングアップの場の他、一般のスポーツ利用としてのサブアリーナ（バスケットボールコート1面程度）を検討します。
③ 観覧席	メインアリーナの2階部分に、スポーツ大会の観戦などのための固定式観覧席を設置します。さらに、1階部分においても壁面収納型の可動式観覧席を検討します。観客席の規模は、プロバスケットボールやバレーボールの公式戦開催等を参考にして最大2,000席程度の観覧席数を検討します。
④ ランニングコース	2階の固定観覧席の後方部分において、トレーニングやウォーミングアップのため屋内ランニングコースを検討します。
⑤ トレーニング室	スポーツ競技者の体力・筋力アップに加え、生活習慣病の予防や運動不足の解消など、誰もが気軽に体力・筋力アップができるよう、各種トレーニング機器を備えたトレーニング室を検討します。
⑥ 多目的室（ダンススタジオ）	ダンス・バレエ・エアロビクスなど各種教室利用時の音楽使用にも対応した多目的室を検討します。
⑦ キッズルーム	乳幼児や児童が、安全に遊びながら基本的な運動能力を養うことができる場、また、保護者がスポーツ活動を行う際の遊び場や待合場所として活用できるよう、ボールプールやアスレチックなどを備えたキッズルームを検討します。

⑧ コミュニティスペース	スポーツ利用者のみならず、市民がくつろぎ、交流することができるような、ホワイエを中心としたコミュニティスペースを検討します。
⑨ 更衣室(ロッカールーム)・シャワー室等の付帯設備	スポーツ競技大会の開催時に加え、多くの市民が日々施設を利用する際にも快適に利用することができるような更衣室(ロッカールーム)・シャワー室等の付帯設備を検討します。
⑩ 会議室・研修室・来賓室	各種スポーツ大会やイベント興業にも対応できる規模の選手控室や監督室、大会役員、来賓等が利用する応接室、放送室などを設置するとともに、各種会議セミナーにも対応できる会議・研修スペースを検討します。
⑪ 環境配慮	環境への配慮として、自然エネルギーの活用や省エネルギー型設備の導入を進めるとともに、地域の自然環境への配慮や、施設からの騒音や振動の低減についても検討します。
⑫ 防災機能	大規模災害時に対応するため、防災備品・食糧貯蔵庫・自家発電設備等の設置や、一時避難場所等として、アリーナの活用を考慮した施設を検討します。また、断水時にも使用可能なトイレの設置に努めるなど、常に清潔で安心して利用できるよう、衛生面への配慮も検討します。
⑬ 駐車スペース	建設する敷地の規模と新市民体育センターの利用者の状況に対応した、駐車スペースの整備を検討します。

◆選定候補の前提条件

- ・市民アンケート結果での駅徒歩圏内の意見を踏まえて、本市の JR4 駅周辺から選定
- ・駅からの距離は、既存の市民体育センターまでの距離(約 1.6km 以内)を想定
- ・敷地面積は、既存の市民体育センターの敷地面積(約 1.7ha)に新市民体育センターの建築面積増加分(約 0.3ha)を加え、最低限必要となる面積(約 2ha)以上を想定

◇候補地選定評価項目（案）

候補地は、以下の評価項目において相対的に評価し、選定します。

評価項目	着目する内容	評価をする上での主なポイント
利便性 (交通アクセス・市民意向)	広域幹線道路、公共交通等へのアクセスや市民意向などから評価を行う	<ul style="list-style-type: none"> *最寄の鉄道駅からのアクセス *広域幹線(国道、県道等)からのアクセス *市民アンケートの意向 等々
候補地の有効性 (土地条件)	土地形状、接道状況、一団で確保できる土地の規模などから評価を行う	<ul style="list-style-type: none"> *候補地の敷地形状は整形か *候補地の接道状況は十分か *一団の土地として2ha以上確保できる可能性があるか 等々
周辺環境への適応性	候補地及び周辺への自然、住環境への影響、敷地の災害危険性、景観との調和などから評価を行う	<ul style="list-style-type: none"> *候補地周辺の住宅地の状況 *災害時の避難所としての優位性について *候補地周辺との景観の調和について 等々
事業遂行の円滑性 (土地条件、将来的な発展性)	法的手続き、土地取得の容易性、周辺施設との連携などから評価を行う	<ul style="list-style-type: none"> *都市計画や農業振興地計画との整合について *文化財発掘調査について *候補地における地権者数について *事業スケジュールについて 等々
事業の経済性 (土地取得、土地条件、経済性の観点)	土地取得及び整地工事コストなどから評価を行う	<ul style="list-style-type: none"> *用地取得費の経済性について *基盤整備における困難性(既存施設撤去含む)について 等々

〈今後の予定〉

提出いただいた意見につきましては、それぞれ対応を整理し、第4回新市民体育センター整備基本計画および金亀公園再整備基本計画検討委員会で審議いただき、新市民体育センターの規模および建設候補地案を提案いただく予定です。提案を受け、平成28年3月末には新市民体育センターの規模と建設予定地等を明確にします。その後、新市民体育センター整備基本計画の策定に向けて、引き続き検討を行います。